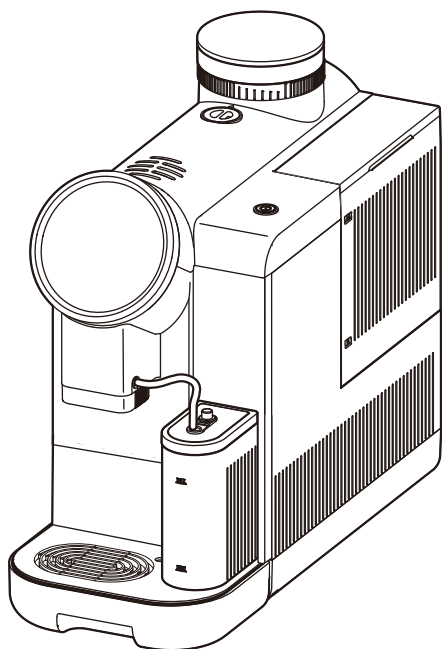


- 業務用として使用しないでください。
- 他の用途で使用しないでください。  
思わぬ事故の原因になります。

家庭用

# 全自動コーヒーマシン YACM-M1593



## もくじ

■ 安全上の注意	1~4
■ 各部の名称	5
■ 操作部と表示部の名称	6
■ 設置について	7
■ 使用前の準備	7~8
■ 使いかた	
● 電源プラグを家庭用コンセントに差し込む	9
● 電源を入れる	9
● カップトレイにコーヒーカップをセットする	9
● コーヒーマニューで抽出する	10
● ミルクメニューで抽出する	11~13
● ホットウォーターメニューで給湯する	13
● こんなマークが表示されたときは	14
● 使用後は	15
■ お手入れと保管	15~24
● 洗浄モードを使用してお手入れする	15~19
■ 仕様	24
■ 故障かな?と思ったら	24~26
■ 点検のお願い	26
■ アフターサービスについて	26
■ 保証書	裏表紙

この製品は、海外では使用できません。  
FOR USE IN JAPAN ONLY

- このたびは、弊社コーヒーマシンをお買上げいただき誠にありがとうございました。
- 使用する前に、この取扱説明書を必ずよく読み正しく安全に使用してください。
- 読んだあとは、大切に保管してください。

最新情報はオリジナルブランドページ

**YAMAZEN BOOK** を  
チェック!



随時情報を更新中!

# 安全上の注意

使用する前に「安全上の注意」をよく読み、必ず守ってください。

※ここに示した項目は、製品を安全に正しく使用するためや、使用する人や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。また危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。



## 警告

この表示を無視して誤った取扱いをすると、死亡または重傷を負うことが想定される内容を示しています。



## 注意

この表示を無視して誤った取扱いをすると、傷害を負ったり物的損害の発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



○記号は、禁止「してはいけないこと」を表示しています。図の中に具体的な禁止内容（左図の場合は、分解禁止）が描かれています。



①記号は、強制「しなければいけないこと」を表示しています。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は、電源プラグをコンセントから抜く）が描かれています。

※読んだあとは、使用する人がいつでも手に取れる場所に、必ず保管してください。



## 警告

### ■ 電源コード・電源プラグについて



電源プラグは、根元まで確実に真っ直ぐ差し込む

指示に従う

- 発熱・感電・火災の原因になります。
- 斜めに差し込まない。



禁止

電源コードや電源プラグが傷んでいたり、差し込みがゆるいときは、使用しない

- ショート・感電・火災の原因になります。
- 電源コードが破損した場合、コードの交換は危険を防止するために、製造業者若しくはそのサービス代理店またはこれらと同等の有資格者によっておこなわなければならない。



指示に従う

本体、電源コード、電源プラグに破損、故障、異常があったり、異常に熱くなるときは、直ちに使用を中止する

- やけど・感電・火災の原因になります。
- ※故障・異常例  
26ページの「点検のお願い こんな症状はありませんか?」を参照して異常があるときは、直ちに使用を中止する。必ず電源プラグをコンセントから抜き、お買上げの販売店に点検や修理を依頼してください。
- 製品の表面にひび割れがあるときは、使用しない。



指示に従う

家庭用コンセント (AC 100V、定格 15A以上) を単独で使用する

- 家庭用コンセント (AC100V) 以外で使用すると、誤作動・故障の原因になります。
- コンセントや配線器具の定格を超える使いかた (タコ足配線など) をすると、異常発熱・火災の原因になります。



指示に従う

定期的に電源プラグのホコリをふき取る

- ホコリがたまると、湿気によって絶縁不良となり、ショート・感電・火災の原因になります。
- ホコリは、乾いたふきんでふき取る。



禁止

電源コードや電源プラグを傷付けたり、破損させたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、巻き付けたり、たばねて使用しない

- ショート・感電・火災の原因になります。
- 必ず結束バンドを外して、電源コードをのばす。



禁止

電源コードの上に、本体や物を載せたり、挟み込まない

- ショート・感電・火災の原因になります。



プラグを抜く

使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜く

- 感電・漏電火災の原因になります。







指示に従う

電源コードを引っ掛けないように注意する










- 転倒や落下して、けが・やけど・感電・火災の原因になります。

# 警告

## ■ 設置について







 <p><b>禁止</b></p> <p>可燃性ガスや引火性の物（ガソリンやシンナーなど）がある場所に設置したり、スプレー缶（掃除用、整髪用、殺虫剤など）を近くに置かない</p> <ul style="list-style-type: none"><li>●爆発・火災の原因になります。</li></ul>	 <p><b>指示に従う</b></p> <p>設置する場所には十分注意し、安定した水平なテーブルや台の上に設置する</p> <ul style="list-style-type: none"><li>●転倒や落下して、けが・やけど・感電・火災の原因になります。</li><li>◎傾いた場所や不安定な場所に設置しない。</li><li>◎製品質量に十分耐えるテーブルや台に設置する。（製品質量：約9.4kg）</li><li>◎設置する台（テーブルやキッチンカウンターなど）から、電源コードを垂らしたり、人が通る場所に電源コードを這わせない。</li></ul>
 <p><b>水ぬれ禁止</b></p> <p>水がかかる場所、水にぬれた場所、湿気の多い場所に設置しない</p> <ul style="list-style-type: none"><li>●ショート・感電・火災の原因になります。</li></ul>	
 <p><b>禁止</b></p> <p>熱に弱い敷物（テーブルクロスなど）の上や燃えやすい物（カーテンや新聞紙など）が周辺にある場所に設置しない</p> <ul style="list-style-type: none"><li>●変色・発煙・火災の原因になります。</li></ul>	

## ■ 使用について

 <p><b>分解禁止</b></p> <p>分解、修理、改造をしない</p> <ul style="list-style-type: none"><li>●やけど・感電・火災の原因になります。</li></ul> <p>※修理は、お買上げの販売店に依頼してください。</p>	 <p><b>禁止</b></p> <p>子供や取扱いに不慣れな方だけで使用しない</p> <p>乳幼児の手の届く場所で使用したり、保管しない</p> <ul style="list-style-type: none"><li>●けが・やけど・感電の原因になります。</li><li>◎この機器は、安全に責任を負う人の監視 または 指示がない限り、補助を必要とする人（子供を含む。）が単独で機器を用いることを意図していない。</li><li>◎この機器で遊ぶことがないように、子供を監視することが望ましい。</li></ul>
 <p><b>禁止</b></p> <p>電源プラグ、すき間、開口部に、金属物や異物を付着させたり、入れない</p> <ul style="list-style-type: none"><li>●ショート・感電・火災の原因になります。</li></ul>	
 <p><b>禁止</b></p> <p>水タンクに水以外を入れたり、ミルクタンクに牛乳以外を入れて抽出しない</p> <ul style="list-style-type: none"><li>●水や牛乳以外（お茶、ティーバッグ、酒、スープなど）を入れて抽出すると、こげつき・腐食・故障・やけどの原因になります。</li></ul>	 <p><b>禁止</b></p> <p>本体をゆらしたり、転倒させない</p> <ul style="list-style-type: none"><li>●水がこぼれたり、故障・感電・火災の原因になります。</li></ul>
 <p><b>禁止</b></p> <p>抽出中や抽出直後は、抽出口、ミルクフォーム出口、給湯口に手や顔を近づけたり、直接触れない。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>●やけどの原因になります。</li><li>◎とくに乳幼児には、触らせないように注意する。</li></ul>	 <p><b>禁止</b></p> <p>抽出中に水タンクのふたを開けたり、水を足したり、水タンクを取り外さない</p> <ul style="list-style-type: none"><li>●故障・ショート・感電の原因になります。</li></ul>
 <p><b>指示に従う</b></p> <p>ミルクメニューを抽出するときは、ミルクタンクに牛乳が入っていることを必ず確認する</p> <ul style="list-style-type: none"><li>●やけどの原因になります。</li><li>◎牛乳が入っていないと、蒸気が噴き出すので必ず確認する。</li></ul>	 <p><b>指示に従う</b></p> <p>本体を持ち運ぶときは、必ず電源プラグをコンセントから抜き、十分冷めてからおこなう</p> <ul style="list-style-type: none"><li>●ショート・やけど・感電の原因になります。</li><li>◎十分冷めるまで、持ち運ばない。</li><li>◎持ち運ぶときは、水タンクの水を捨ててからおこなう。</li></ul>



# 警告

## ■ お手入れ・保管について







 <p><b>お手入れのときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>●ショート・やけど・感電の原因になります。</li><li>◎電源プラグをコンセントに差し込んだまま、お手入れをしない。</li></ul>	 <p><b>ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>●ショート・感電の原因になります。</li></ul>
 <p><b>各種スプレー（掃除用、整髪用、殺虫剤など）を吹き付けない</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>●本体内部にガスが滞留して、爆発・火災の原因になります。</li><li>●変色・破損の原因になります。</li></ul>	 <p><b>本体、電源コード、電源プラグを水に入れたり、水をかけたり、丸洗いをしない</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>●ショート・感電・火災の原因になります。</li><li>◎誤って本体に水をこぼしてしまったときは、直ちに使用を中止する。</li><li>必ず電源プラグをコンセントから抜き、お買上げの販売店に点検や修理を依頼してください。</li></ul>
 <p><b>包装用ポリ袋は、子供の手の届かない場所に保管する</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>●誤って顔にかぶったり、巻き付いたりして、窒息する原因になります。</li></ul>	 <p><b>お手入れのときは、十分冷めてからおこなう</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>●やけどの原因になります。</li><li>◎お手入れは、大人の監督なしで子供がおこなってはならない。</li></ul>

# 注意

## ■ 電源コード・電源プラグについて











 <p><b>電源プラグを抜くときは、電源プラグを持って、真っ直ぐ抜く</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>●電源コードが断線して、ショート・感電・火災の原因になります。</li><li>◎電源コードを引っ張って抜かない。</li></ul>	 <p><b>電源コードを持って本体を引っ張らない</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>●設置場所が傷付いたり、電源コードが断線して、ショート・感電・火災の原因になります。</li></ul>
---	---

## ■ 設置について





 <p><b>油、油煙、金属粉が発生する場所（厨房や工場）やホコリの多い場所に設置しない</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>●変形・故障・感電・火災の原因になります。</li></ul>	 <p><b>壁や家具の近く、扉付きのキッチン用収納棚やキャビネットの中に設置したり、中で使用しない</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>●使用するとき支障が出たり、熱や蒸気により壁や家具を傷めたり、やけど・火災の原因になります。</li></ul>
 <p><b>直射日光が当たる場所、火気や熱源（コンロや暖房器具）の近く、温度が高くなる場所に設置しない</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>●変色・変形・火災の原因になります。</li></ul>	 <p><b>使用（設置）環境温度に注意する</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>●故障の原因になります。</li><li>◎環境温度が0℃付近になるような場所に設置すると、内部の水が凍結して故障の原因になるため注意する。</li><li>◎10℃～35℃の環境温度推奨。</li></ul>
 <p><b>屋外に設置しない</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>●ショート・感電・火災の原因になります。</li></ul>	 <p><b>指示に従う</b></p>

# ⚠ 注意

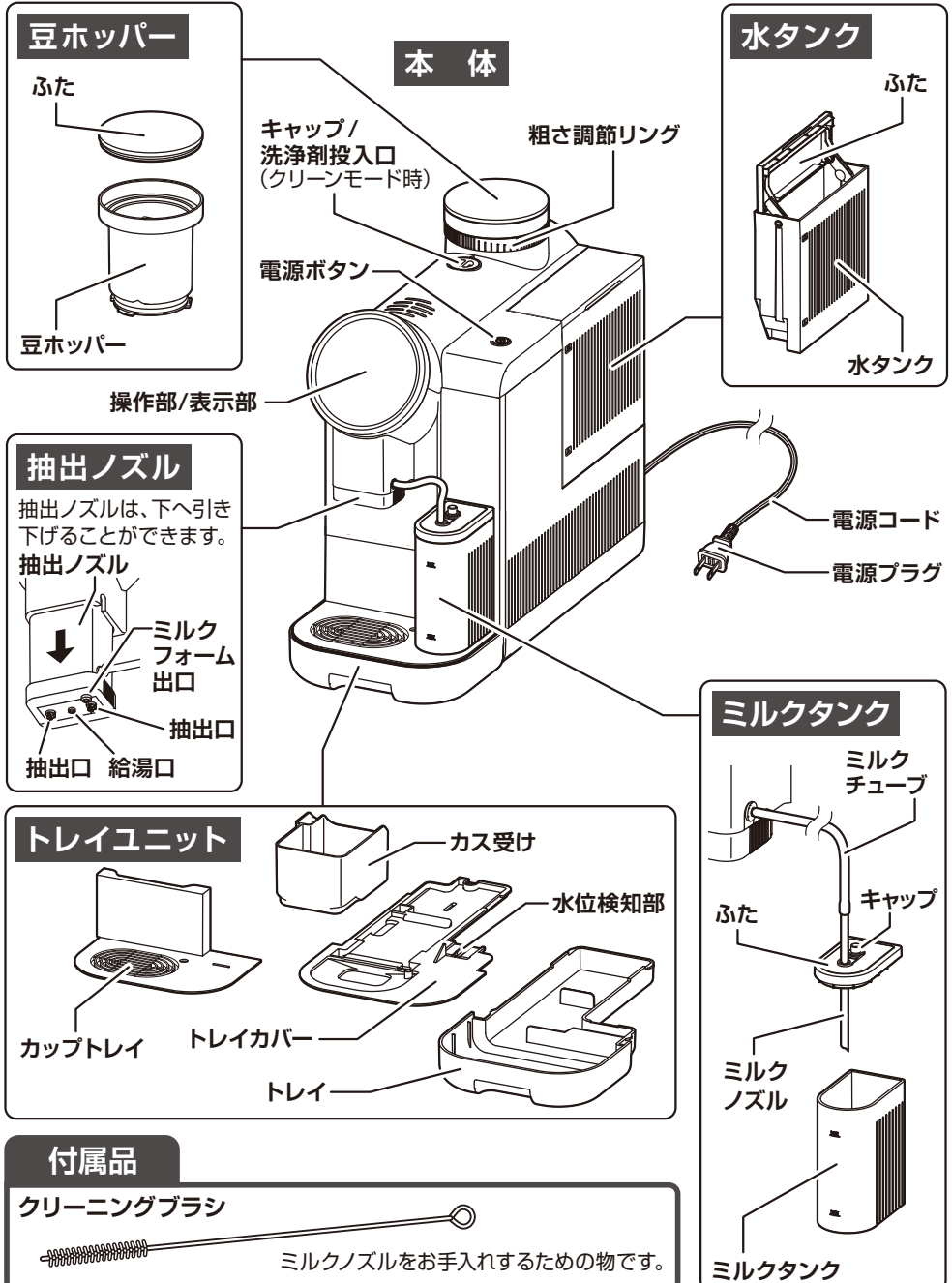
## ■ 使用について

<p> <b>この機器は、一般家庭用です 家庭内以外で使用しない</b></p> <p>●無理な負担がかかり、故障・過熱・火災の原因になります。</p> <p>◎この機器は、家庭内で使用するよう 意図しています。 次のような不特定多数の人が使用できる 環境下での使用は意図していません。</p> <p>■店舗、事務所および他の作業環境内 のスタッフ用台所区域</p> <p>■農家</p> <p>■ホテル、モーテルおよび他の住居タイプ の環境での顧客が使用するもの</p> <p>■朝食付き簡易宿泊施設（ベッドおよび 朝食付きホテル）タイプの環境</p>	<p> <b>動物（犬や猫など）がいる部屋で 使用するときには、十分注意する</b></p> <p>指示に従う ●本体や電源コードを傷め、ショート・ 感電・火災の原因になります。</p>
<p> <b>抽出中にトレイユニットを取り 外さない</b></p> <p>●破損・故障・やけどの原因になります。</p>	<p> <b>本書に記載のない目的や用途に使用 しない</b></p> <p>●故障・やけど・感電の原因になります。</p>
<p> <b>壁、家具、キッチン棚に蒸気があたら ないように注意する</b></p> <p>●壁、家具、キッチン棚が変色したり、 傷める原因になります。</p>	<p> <b>豆ホッパーにコーヒー豆以外入れない</b></p> <p>●故障の原因になります。</p> <p>◎コーヒー粉や液体を豆ホッパーに 入れない。</p>
<p> <b>持ち運ぶときは、本体をしっかり 持っておこなう</b></p> <p>●破損・故障・けがの原因になります。</p> <p>◎製品が重いため、持ち運ぶときは 十分注意する。</p>	<p> <b>長時間使用しないときや凍結の おそれがあるときは、水タンクや 本体内部の水を排出しておく</b></p> <p>指示に従う ●極端に長い時間水を入れたままにして おくと、カビや雑菌が繁殖して異臭が したり、破損・故障の原因になります。</p> <p>◎水を排出するときは、15ページの「本体 内部に残った水を排出する」を参照。</p>
	<p> <b>機器が、外部タイマ または 個別の 遠隔操作システムによって操作する ように意図していない</b></p> <p>指示に従う ●感電・火災の原因になります。</p>
	<p> <b>落としたり、強い衝撃を与えない</b></p> <p>●破損・故障・けがの原因になります。</p>

## ■ お手入れ・保管について

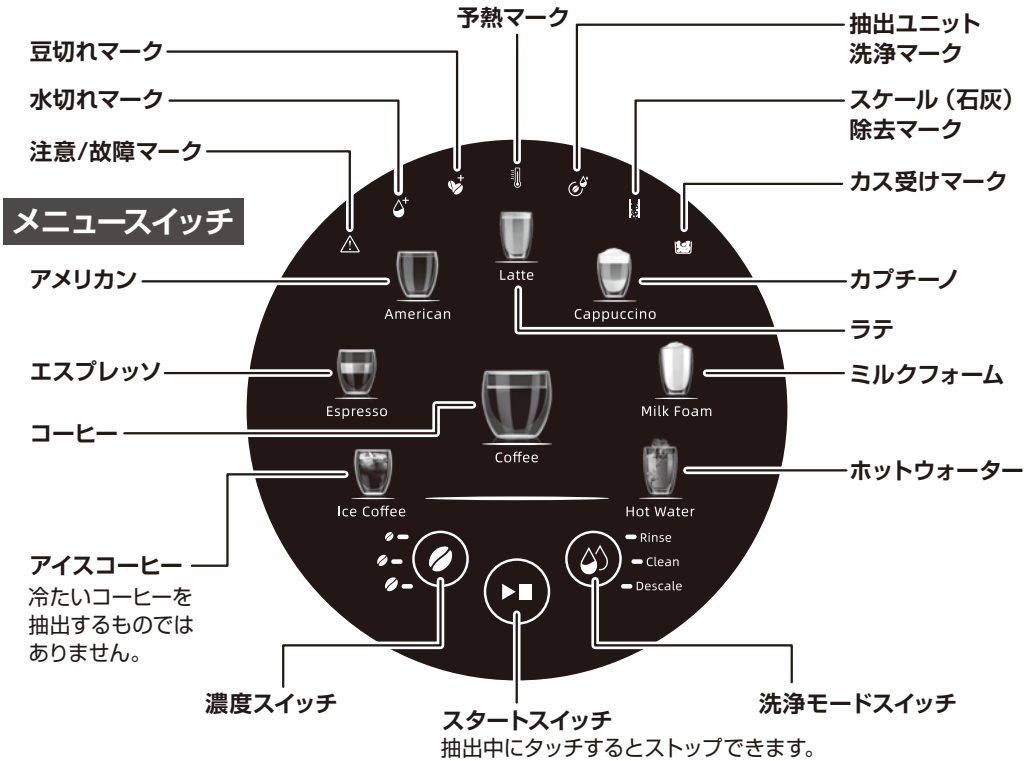
<p> <b>お手入れには、シンナー、ベンジン、 漂白剤、みがき粉、たわし、スポンジ の研磨面、金属ブラシ類は使用しない</b></p> <p>●変色・傷・破損の原因になります。</p> <p>◎お手入れは、15～24ページの「お手 入れと保管」を参照する。</p> <p>◎傷が付きやすい物やかたい物でお手 入れをしない。</p>	<p> <b>電源プラグの汚れは、乾いたやわら かいふきんでふき取る</b></p> <p>指示に従う ●ショート・感電の原因になります。</p> <p>◎ぬれたふきんでふかない。</p>
<p> <b>食器洗い乾燥機で洗ったり、食器 乾燥器で乾燥させない</b></p> <p>●変形・破損・やけどの原因になります。</p>	<p> <b>お手入れは、こまめにおこなう</b></p> <p>●異臭・故障・健康を害する原因に なります。</p> <p>指示に従う ◎常に清潔に保つようお手入れする。</p>

# 各部の名称



●本書は、イラストを用いて説明しています。実際の製品とは、多少異なることがあります。

# 操作部と表示部の名称



- 各スイッチは、タッチスイッチになっています。  
指が汚れていたり、ぬれていると反応しないことがあります。

## スタンバイモードと待機モードについて

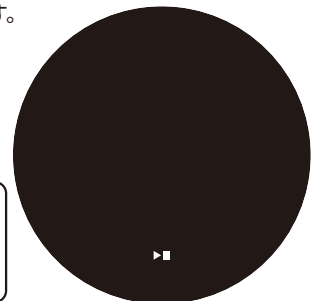
### スタンバイモード

下記のように各メニュースイッチと洗浄モードスイッチが点灯した状態。



### 待機モード

下記のようにスタートスイッチが点滅した状態。  
スタンバイモードで無操作のまま約10分間経過すると、待機モードになります。  
スタートスイッチをタッチすると、スタンバイモードに戻ります。



点灯や点滅している状態をわかりやすくするため、点灯や点滅していないところは、表示していません。

# 設置について

※設置するときは、下記の距離や場所に注意してください。

## 適した設置場所

- 熱がこもらないように、周囲の壁や家具から右記の距離を離して、安定した水平な場所に設置します。

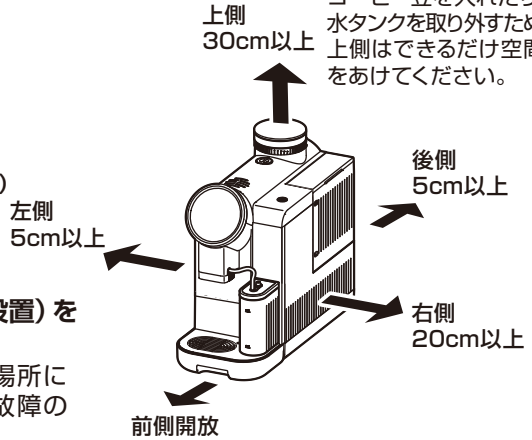
※製品質量に十分耐えるテーブルや台に設置してください。(製品質量:約9.4kg)

※製品の前面は、物を置いたりしないで開放してください。  
トレイユニットが引き出せなくなります。

- 10℃～35℃の環境温度での使用(設置)を推奨します。

●環境温度が0℃付近になるような場所に設置すると、内部の水が凍結して故障の原因になります。

コーヒー豆を入れたり、水タンクを取り外すため上側はできるだけ空間をあけてください。



## こんな場所には設置しない

- 壁や家具の近く、扉付きのキッチン用収納棚やキャビネットの中に設置しない  
●熱や蒸気により壁や家具を傷めたり、やけど・火災の原因になります。

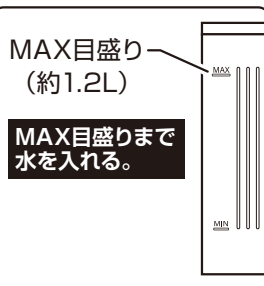
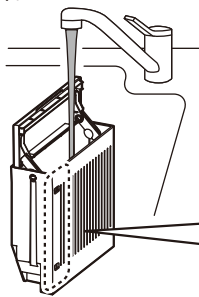
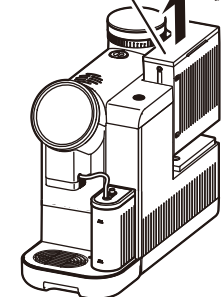
# 使用前の準備

※本製品は、抽出検査をしてから出荷するため、使用する前に15ページからの「お手入れと保管」を参照して、お手入れしてから使用してください。

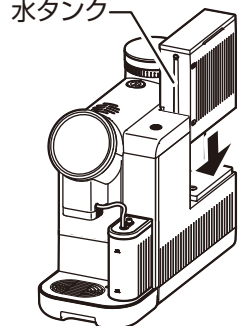
## 水タンクに水を入れる

- 水タンクを取り外して水を入れます。
- 水タンクを元どおり本体に取り付けます。

持ち上げて取り外す



差し込んで取り付ける

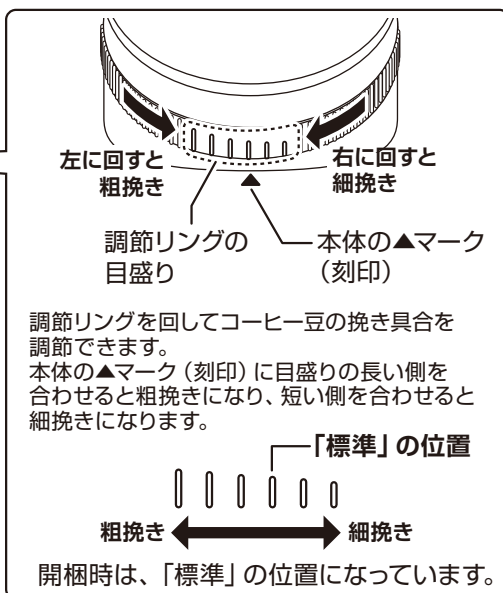
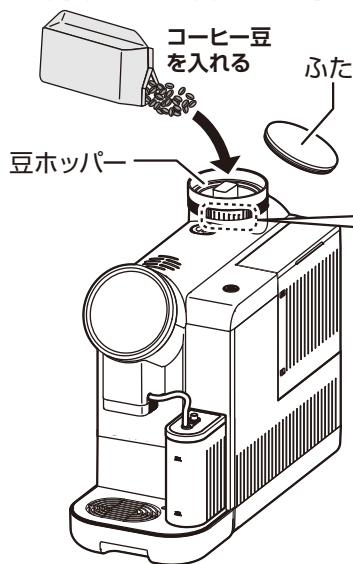


# 使用前の準備

## コーヒー豆を入れる

- ふたを取り外して、豆ホッパーにコーヒー豆を入れます。
- ふたを元どおり豆ホッパーにかぶせます。
- 調節リングを回して、お好みの挽き具合に調節します。

コーヒー豆以外の物を豆ホッパーに入れない



## コーヒー豆の目安量

■豆ホッパー容量: 約150g

■コーヒー1杯分で、約9g~13gのコーヒー豆を使用します。

## お知らせ

- 上記は目安量です。
- ※目安量よりも多めに、コーヒー豆を豆ホッパーに入れてください。

## コーヒー豆について

- ※豆ホッパーには、焙煎したコーヒー豆以外入れないでください。  
焙煎していないコーヒーの生豆、コーヒー粉(コーヒー豆を挽いた物)、インスタントコーヒー、ココアパウダーは入れないでください。
- ※油分が多いコーヒー豆は、豆ホッパーに付着したり、豆を挽くミルに引き込まれにくくなることもあるため、使用を避けてください。
- ※豆ホッパーの穴にコーヒー豆が引っかかって、豆を挽くミルに落ちないことがあります。  
そのようなときは、細い棒(箸など)を使用してコーヒー豆を軽く押し込んでください。
- ※豆ホッパーに残ったコーヒー豆は、できるだけ早めに使い切ってください。  
長時間コーヒー豆を入れたままにすると、酸化する原因になります。

# 使いかた

## 電源プラグを家庭用コンセント (AC100V) に差し込む

- 電源プラグを家庭用コンセントに、根元まで確実に差し込みます。

### 警告



- 家庭用コンセント (AC100V、定格15A以上) を単独で使用する
- 家庭用コンセント (AC100V) 以外で使用すると、誤作動・故障の原因になります。
  - コンセントや配線器具の定格を超える使いかた (タコ足配線など) をすると、異常発熱・火災の原因になります。

必ず結束バンドを外して、電源コードをのばす。電源プラグをコンセントに真っ直ぐ差し込む。

## 電源を入れる

- ※電源を入れると自動的に予熱や内部洗浄をすることがあるため、電源を入れるときはカップトレイに、容量200mL程度の容器をセットしてください。



- カップトレイに、容量200mL程度の容器をセットします。
- 電源ボタンを押して電源を入れます。
- 電源が入ると、「予熱マーク」が点滅して予熱を開始します。
- 予熱が完了すると、自動的に本体内部や抽出ノズル (出口) を洗浄します。
- 内部洗浄中は、洗浄水が排出されます。
- 内部洗浄が完了すると、スタンバイモードになります。
- 容器に排出された洗浄水を捨てます。

## 電源入時のお知らせ

- 購入後はじめて使用するときや、本体内部の水を排出 (15ページ参照) したあとに電源を入れると製品から大きな音が出ますが、故障や異常ではありません。これは、ポンプ内に水が無いためでポンプに水が流れ込むと、音が消えてスタンバイモードになります。
- ヒーターが冷めているときは、自動的に予熱と内部洗浄をします。
- ヒーターが抽出できる温度まで温まっていないときは、自動的に予熱をします。内部洗浄はしません。
- ヒーターが抽出できる温度まで温まっているときは、予熱と内部洗浄はしません。

## カップトレイにコーヒーカップをセットする

- 容量200mL程度のコーヒーカップをセットします。
- 抽出ノズルの高さを調節します。

### 参考

- 一般的な紙コップの容量は、約200mL程度になります。



# 使いかた

## コーヒーメニューで抽出する

コーヒーメニューは、コーヒー、アイスコーヒー、エスプレッソ、アメリカンがあります。

### ① メニューを選択する



- お好みのメニュースイッチをタッチします。

メニュー	 Coffee コーヒー	 Ice Coffee アイスコーヒー	 Espresso エスプレッソ	 American アメリカン
抽出量	約150mL	約60mL	約30mL	約150mL

- 抽出量は目安です。

### お知らせ

- アイスコーヒーは、冷たいコーヒーを抽出するものではありません。  
家庭用冷蔵庫の製氷皿でつくった氷を約100g程度（6個程度）グラスなどに入れ、抽出したコーヒーを注いで冷やし、アイスコーヒーをつくります。

### ② 濃度を設定する



- 濃度スイッチをタッチして、お好みの濃度に設定します。
- 濃度ランプを見ながら設定します。

 マイルド(薄い)

 **スタンダード**  
(デフォルト)

 **ストロング(濃い)**

### お知らせ

- 濃度は、スタンダードが最初に設定されます。  
薄いと感じるときは、ストロングに設定します。  
濃いと感じるときは、マイルドに設定します。

### ③ 抽出を開始する



- スタートスイッチをタッチすると、抽出が開始されます。
- 途中で停止したいときは、抽出中にスタートスイッチをタッチすると、抽出が停止します。  
(スイッチをタッチして停止しても、本体内部の水路内に残ったコーヒーが出てくる場合があります)

### ④ 抽出後は



- 抽出後、無操作で約10分間経過すると待機モードになります。  
待機モードの状態では、約2時間経過後に電源が切れます。
- 使用しないときは、電源ボタンを押して電源を切ります。  
抽出したときは、自動的に本体内部や抽出ノズル(出口)を洗浄してから電源が切れます。  
※抽出したあとに電源を切るときは、カップトレイに容量200mL程度の容器をセットしてから電源ボタンを押してください。  
何も抽出しなかったときは、内部洗浄をしないで電源が切れます。

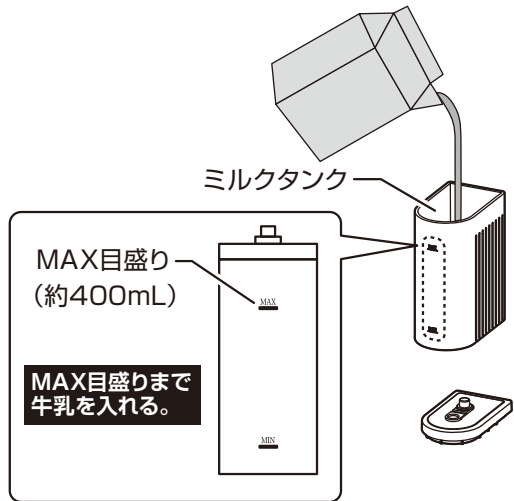
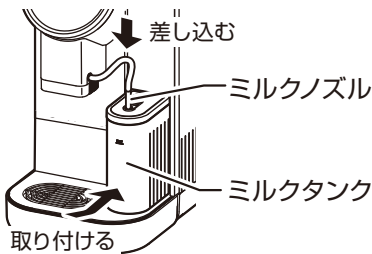
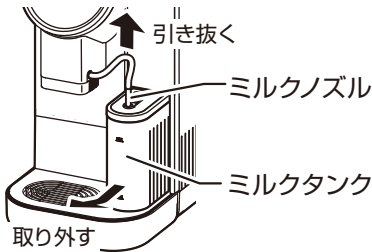
# 使いかた

## ミルクメニューで抽出する

### ① 抽出する前の準備

ラテ、カプチーノの抽出やミルクフォームをつくる時は、ミルクタンクによく冷えた牛乳を入れます。

- ミルクタンクを本体から取り外します。
- ミルクノズルをミルクタンクから引き抜きます。
- ふたを取り外して牛乳を入れ、ふたを元どおりかぶせます。
- ミルクノズルをミルクタンクに差し込みます。
- ミルクタンクを元どおり本体に取り付けます。



### 牛乳について

※種類別名称が「牛乳」と記載され、成分無調整、乳脂肪分3.0%以上の牛乳で抽出してください。

上記以外で抽出すると、泡立ちが悪くなったり、泡立たない原因になります。

※新鮮でよく冷えた牛乳を用意し、抽出する直前まで冷蔵庫で冷やしておいてください。冷えていない牛乳で抽出すると、泡立ちが悪くなる原因になります。

※ミルクタンクに残った牛乳は、放置しないでキャップをしてミルクタンクごとまたは別の容器に移しかえて冷蔵庫に入れてください。

常温で放置したまま抽出すると泡立ちが悪くなったり、健康を害する原因になります。

※ミルクメニューで抽出したあとは、付属のクリーニングブラシを使用して必ずミルクノズルをお手入れしてください。

ミルクノズル内に残った牛乳が乾いてかたまり、ミルクが詰まる原因になります。

# 使いかた

## ミルクメニューで抽出する つづき

ミルクメニューは、ラテ、カプチーノ、ミルクフォームがあります。

### ② メニューを選択する



- お好みのメニュースイッチをタッチします。

メニュー	 Latte ラテ	 Cappuccino カプチーノ	 Milk Foam ミルクフォーム
抽出量	約150mL	約150mL	約180mL

- 抽出量は目安です。

### 注意

※ミルクメニューで抽出するときは、必ずミルクタンクに半分以上牛乳が入っていることを確認してください。  
ミルクメニューは、蒸気で牛乳を泡立ててミルクフォームをつくるため、牛乳が無くなるとミルクフォーム出口から蒸気が勢いよく噴き出して、やけどの原因になります。

### ③ 濃度を設定する ○ラテ、カプチーノのみ



- 濃度スイッチをタッチして、お好みの濃度に設定します。
- 濃度ランプを見ながら設定します。

- マイルド(薄い)
- スタンダード(デフォルト)
- ストロング(濃い)

### お知らせ

- 濃度は、スタンダードが最初に設定されます。  
薄いと感じるときは、ストロングに設定します。  
濃いと感じるときは、マイルドに設定します。

### ④ 抽出(ミルクフォーム)を開始する



- スタートスイッチをタッチすると、抽出が開始されます。
- 途中で停止したいときは、抽出中にスタートスイッチをタッチすると、抽出が停止します。  
(スイッチをタッチして停止しても、本体内部の水路内に残ったコーヒーやミルクフォームが出てくることがあります)

### お知らせ

- コーヒーを抽出したあと、少し間を空けてミルクフォームが出ます。  
コーヒーとミルクフォームは、同時に抽出されません。  
ミルクフォームが完了するまで待ってください。

# 使いかた

## ミルクメニューで抽出する つづき

### ⑤ 抽出後は



- 抽出後、無操作で約10分間経過すると待機モードになります。待機モードの状態では、約2時間経過後に電源が切れます。
- 使用しないときは、電源ボタンを押して電源を切ります。抽出したときは、自動的に本体内部や抽出ノズル（出口）を洗浄してから電源が切れます。  
※抽出したあとに電源を切るときは、カップトレイに容量200mL程度の容器をセットしてから電源ボタンを押してください。何も抽出しなかったときは、内部洗浄をしないで電源が切れます。

### ミルクメニューで抽出したあとは

- ミルクメニューで抽出したあとは、抽出後無操作で約8分間経過すると自動的に本体内部や抽出ノズル（出口）を洗浄してから、待機モードになります。  
※抽出後そのまま放置するときは、カップトレイに容量200mL程度の容器をセットしてください。

## ホットウォーターメニューで給湯する

### ① メニューを選択する



- ホットウォータースイッチをタッチします。

メニュー	 Hot Water ホットウォーター
給湯量	約150mL

- 給湯量は目安です。

### ② 給湯を開始する



- スタートスイッチをタッチすると、給湯が開始されます。
- 途中で停止したいときは、給湯中にスタートスイッチをタッチすると、給湯が停止します。  
(スイッチをタッチして停止しても、本体内部の水路内に残ったお湯が出てくる場合があります)




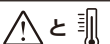






### ③ 給湯後は



- 給湯後、無操作で約10分間経過すると待機モードになります。待機モードの状態では、約2時間経過後に電源が切れます。
- 使用しないときは、電源ボタンを押して電源を切ります。

# こんなマークが表示されたときは（エラー表示）

下記マークは、水切れや豆切れなどをお知らせする表示です。  
各マークが表示されたときは、下記を参照して適切な対処をしてください。

マーク	表示された原因	対処のしかた
	●低温環境を検知すると表示されます。 水の凍結により、ポンプや抽出ユニットの故障を防止するため使用できません。	●多少前後しますが、0℃付近を目安にして低温環境を検知します。 環境温度を暖かく（10℃～35℃推奨）して、本体が環境温度になじんでから電源を入れ直すと、表示が消灯して使用できるようになります。
	●ポンプが動作するときに、水タンクが浮いているなど確実に取り付けられていなかったり、取り外したりすると表示されます。	●水タンクが確実に取り付けられているか確認し、スタートスイッチをタッチしたあとは、水タンクを取り外さないでください。 水の入った水タンクを確実に取り付けからスタートスイッチをタッチすると、消灯してスタンバイモードになります。
	●抽出ユニット異常時に表示されます。	●故障が考えられますので、お買上げの販売店に点検や修理を依頼してください。
	●分岐ソレノイド異常時に表示されます。	
	●NTC異常時に表示されます。	
	●水タンクの水が無くなったり、水タンクが確実に取り付けられていないと表示されます。	●電源を入れたときに表示されたときは、水タンクに水を入れたり、水の入った水タンクを確実に取り付けるとスタンバイモードになります。 ●抽出中に表示されたときは、水タンクに水を入れると消灯して、自動的に抽出が再開されます。
	●豆ホッパーのコーヒー豆が無くなると表示されます。	●豆ホッパーにコーヒー豆を入れてください。 豆を入れても、抽出は自動的に再開されません。 再度メニューを選択して、抽出を再開します。
	●抽出を約200回すると表示されます。	●クリーンモードで抽出ユニットを洗浄してください。 17ページを参照して、クリーンモードで洗浄を完了すると消灯します。
	●水の使用量が約36Lになると表示されます。	●ディスケールモードでスケール(石灰)を除去してください。 18～19ページを参照して、ディスケールモードで洗浄を完了すると消灯します。
	●トレイユニットが確実に取り付けられていないと表示されます。	●トレイユニットを確実に取り付けると消灯します。
	●トレイが洗浄水などで満水になると表示されます。	●トレイに排出された洗浄水を捨て、トレイユニットを元どおり本体に取り付けると消灯します。
	●コーヒー豆を約10回換くと表示されます。	●カス受けのコーヒーカスを捨ててトレイユニットを元どおり本体に取り付けると、カウントがリセットされて消灯します。 トレイユニットを取り外したときは、必ずコーヒーカスを捨ててください。 コーヒーカスが残ったままトレイユニットを取り付けると、残っている状態からさらに10回分のコーヒーカスが落ちて、カス受けからあふれる原因になります。 ●電源を切ってから、トレイユニットを取り外してコーヒーカスを捨てると、カウントがリセットされないため、次回使用時に10回換いていなくても表示されます。 電源を入れた状態で、トレイユニットを取り外してください。
	●予熱中に表示されます。	●予熱が完了すると消灯します。

# 使いかた

## 使用後は

- 使用しないときは、電源を切ってから電源プラグをコンセントから抜きます。  
※電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。
- 本体が十分冷めてから、15～24ページの「お手入れと保管」に従ってお手入れをします。

電源プラグを  
コンセントから  
真っ直ぐ抜く。

## 本体内部に残った水を排出する

- 長時間使用しないときや凍結のおそれがあるときは、下記の要領で本体内部に残った水を排出しておきます。  
排出しないと、異臭・破損・故障の原因になります。
- ①水タンクとミルクタンクを取り外します。
- ②スタートスイッチとホットウォータースイッチを同時に長タッチします。
- ③メニュースイッチが順送りで点灯して、本体内部に残った水をトレイに排出します。  
排出が完了すると、電源が切れます。  
(排出中は、製品から大きな音がしますが、故障や異常ではありません)
- ④トレイに排出された水を捨てます。  
※排出中は、水タンクやミルクタンクを取り付けしないでください。



同時に  
長タッチする

## お手入れと保管

コーヒーマシンは、飲み物に使用する機器のため、使用後はお手入れをしていつも清潔な状態にします。

※各部品を取り外して、必ずこまめにお手入れをしてください。

※お手入れをするときは、けがを防止するためゴム手袋を着用してください。

### 警告



お手入れのときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く  
●ショート・やけど・感電の原因になります。  
●電源プラグをコンセントに差し込んだまま、お手入れをしない。



お手入れのときは、十分冷めてからおこなう  
●やけどの原因になります。  
●お手入れは、大人の監督なしで子供がおこなってはならない。

## 洗浄モードを使用してお手入れする

お手入れ内容によって、下記3種類の洗浄モードから選択します。

モード	水タンクに入れる水量	洗浄剤やスケール除去剤	洗浄に要する目安時間	お手入れ内容
Rinse (リンス)	水タンクの 半分程度	—	約50秒	本体内部の水路や抽出ノズル(出口)を洗浄します。
Clean (クリーン)	MAX目盛り (約1.2L)	洗浄剤 を使用	約15分	洗浄剤投入口に洗浄剤(タブレットタイプ)を入れて、抽出ユニットを洗浄します。
Descale (ディスケール)	MAX目盛り (約1.2L)	スケール 除去剤 を使用	約45分	1回目は、スケール除去剤を溶かした水を水タンクに入れて、本体内部を洗浄します。 2回目は、水のみを水タンクに入れてスケール除去剤を洗い流します。

上記の洗浄に要する目安時間は、多少前後することがあります。

# お手入れと保管

## 洗浄モードを使用してお手入れする つづき

### 洗浄モードについて

- ※各洗浄モードを開始すると、洗浄が完了するまで解除できません。  
途中で電源を切ったり、電源プラグを抜くと、故障の原因になります。
- ※クリーンモードやディスケールモードは、洗浄に要する時間が長いため、時間に余裕があるときに洗浄してください。
- ※「抽出ユニット洗浄マーク」が表示されたときは、クリーンモードで洗浄してください。
- ※「スケール(石灰)除去マーク」が表示されたときは、ディスケールモードで洗浄してください。
- マークが表示されていなくても、各洗浄モードを選択して洗浄することができます。

### 洗浄剤やスケール除去剤について

- ※洗浄モードで使用する洗浄剤やスケール除去剤は、市販のコーヒーマシン用の物をネット通販などで別途お買求めください。
- ※食器用の中性洗剤などは、使用しないでください。
- ◎Clean (クリーンモード)  
使用する洗浄剤：コーヒーマシン用の抽出部用洗浄剤(コーヒー油分洗浄剤)  
※クリーンモードで、粉末タイプや液体タイプの洗浄剤は使用できません。  
タブレットタイプの洗浄剤を使用してください。
- ◎Descale (ディスケールモード)  
使用するスケール除去剤：コーヒーマシン用のスケール(石灰)除去剤

### Rinse (リンスモード)

洗浄に要する目安時間：約50秒間

お湯で本体内部の水路を洗浄します。

## ① 水タンクに水を入れる

- 水タンクに、MIN目盛りからMAX目盛りまでの半分程度水を入れます。

## ② カップトレイに容器をセットする

- カップトレイに、容量200mL程度の容器をセットします。

## ③ 洗浄モードを設定する



Rinse

Clean

Descale

- 洗浄モードスイッチをタッチして、「Rinse」を設定します。  
(洗浄モードスイッチをタッチするごとに、洗浄モードが順送りかわります)

- スタートスイッチが点滅します。

## ④ 洗浄を開始する



- スタートスイッチをタッチします。
- スタートスイッチが点灯して、洗浄を開始します。
- 洗浄中は、セットした容器、カス受け、トレイに洗浄水が排出されます。
- 洗浄が終わると、スタンバイモードになります。
- 容器に排出された洗浄水を捨てます。

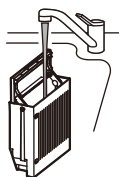
# お手入れと保管

## 洗浄モードを使用してお手入れする つづき

Clean (クリーンモード)

洗浄に要する目安時間: 約15分間

抽出部用洗浄剤(タブレットタイプ)で、抽出ユニットを洗浄します。



### ① 水タンクに水を入れる

- 水タンクに、MAX目盛り(約1.2L)まで水を入れます。

### ② 洗浄モードを設定する



- Rinse
- Clean
- Descal
- 洗浄モードスイッチをタッチして、「Clean」を設定します。(洗浄モードスイッチをタッチすることにより、洗浄モードが順送りになります)
- スタートスイッチが点滅します。
- スタートスイッチをタッチします。
- 「☒ カス受けマーク」が点滅して、スタートスイッチが点灯します。

### ③ カス受けのコーヒークスと、トレイの洗浄水を捨てる

- トレイユニットを取り外して、カス受けやトレイに残っているコーヒークスや洗浄水を捨て、トレイユニットを元どおり本体に取り付けます。
- 「☒ カス受けマーク」が消灯して、約2分間洗浄の準備をしたあと、スタートスイッチが点滅します。

### ④ カップトレイに容器をセットする

- カップトレイに、容量350mL程度の容器を必ずセットします。

### ⑤ 洗浄剤投入口に洗浄剤(タブレットタイプ)を入れる

- 洗浄剤投入口のキャップを開けて、洗浄剤(タブレットタイプ)を入れます。

※洗浄剤は、市販のタブレットタイプ1個(約1.5g~2g)を入れてください。複数個入れると、洗浄剤が洗い流しきれずに残ることがあります。  
※粉末タイプや液体タイプの洗浄剤は、入れないでください。

洗浄剤  
(タブレットタイプ)



### ⑥ 洗浄を開始する



- スタートスイッチをタッチします。
- スタートスイッチが点灯して、洗浄を開始します。
- 洗浄中は、セットした容器、カス受け、トレイに洗浄水が排出されます。
- 洗浄が終わると、「☒ カス受けマーク」が点滅します。
- 容器に排出された洗浄水を捨てます。
- トレイユニットを取り外して、カス受けやトレイに排出された洗浄水を捨てます。
- トレイユニットを元どおり本体に取り付けると、スタンバイモードになります。

キャップ

洗浄剤投入口

#### お知らせ

- 自動的に洗浄剤を洗い流していますが、洗浄後に「水のみ」でもう一度クリーンモードで洗浄することをおすすめします。

# お手入れと保管

## 洗浄モードを使用してお手入れする つづき

Descal (ディスケールモード)

洗浄に要する目安時間: 約45分間

スケール除去剤を溶かした水ときれいな水で、2回に分けて本体内部のスケール(石灰)を洗浄します。

### 1回目

#### ① 水タンクにスケール除去剤を溶かした水を入れる

- MAX目盛り(約1.2L)分の水とスケール除去剤を容器に入れ、よく混ぜたり、溶かします。

※スケール除去剤は、市販のタブレットタイプや粉末タイプなどを使用してください。  
スケール除去剤の説明書や表示に従って、水約1.2Lに対して適切な濃度になるように入れてください。

- 水タンクに、スケール除去剤を溶かした水(約1.2L)を入れます。  
(水タンクで直接スケール除去剤を混ぜたり、溶かすこともできます)



#### ② 洗浄モードを設定する



- 洗浄モードスイッチをタッチして、「Descal」を設定します。  
(洗浄モードスイッチをタッチするごとに、洗浄モードが順送りかわります)
- スタートスイッチが点滅します。
- スタートスイッチをタッチします。
- 「☒カス受けマーク」が点滅して、スタートスイッチが点灯します。

#### ③ カス受けのコーヒーカスと、トレイの洗浄水を捨てる

- トレイユニットを取り外して、カス受けやトレイに残っているコーヒーカスや洗浄水を捨て、トレイユニットを元どおり本体に取り付けます。
- 「☒カス受けマーク」が消灯して、スタートスイッチが点滅します。

#### ④ カップトレイに容器をセットする

- カップトレイに、容量200mL程度の容器を必ずセットします。

### お知らせ

- ディスケールモードは、2回に分けて洗浄します。  
1回目は、スケール除去剤を溶かした水で洗浄します。  
2回目は、水タンクの水を入れかえて、水のみでスケール除去剤を洗い流します。

# お手入れと保管

洗浄モードを使用してお手入れする つづき

Descale (ディスケールモード) つづき 洗浄に要する時間: 約45分間

## ⑤ 1回目の洗浄を開始する (スケール除去剤での洗浄)



- スタートスイッチをタッチします。
- スタートスイッチが点灯して、1回目の洗浄を開始します。
- 洗浄中は、セットした容器、カス受け、トレイに洗浄水が排出されます。
- 洗浄が終わると、「カス受けマーク」とスタートスイッチが点滅します。

## ⑥ 容器、カス受け、トレイの洗浄水を捨てる

- 容器に排出された洗浄水を捨てます。
- トレイユニットを取り外して、カス受けやトレイに排出された洗浄水を捨て、トレイユニットを元どおり本体に取り付けます。
- 「カス受けマーク」が消灯します。

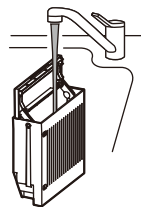
### 2回目

## ⑦ カップトレイに空の容器をセットする

- カップトレイに、容量200mL程度の容器を必ずセットします。

## ⑧ 水タンクに水を入れる

- 水タンクに残った水を捨て、スケール除去剤を洗い流します。
- 水タンクに、MAX目盛り (約1.2L) まで水を入れます。  
(きれいな水のみを入れ、スケール除去剤は使用しません)



## ⑨ 2回目の洗浄を開始する (スケール除去剤の洗い流し)



- スタートスイッチをタッチします。
- スタートスイッチが点灯して、2回目の洗浄を開始します。
- 洗浄中は、セットした容器、カス受け、トレイに洗浄水が排出されます。
- 洗浄が終わると、「カス受けマーク」が点滅します。
- 容器に排出された洗浄水を捨てます。
- トレイユニットを取り外して、カス受けやトレイに排出された洗浄水を捨てます。
- トレイユニットを元どおり本体に取り付けると、スタンバイモードになります。

# お手入れと保管

## 必ずお守りください

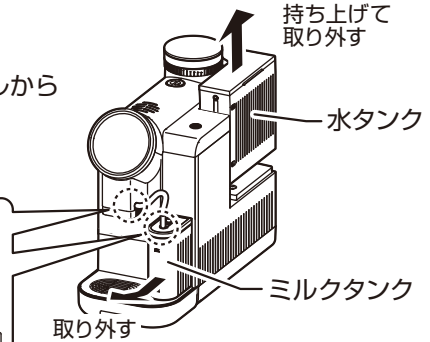
※各部品を取り外したり、お手入れをするときは必ず電源プラグをコンセントから抜き、十分冷めてからお手入れをしてください。

## 水タンク、ミルクタンク、ミルクチューブ、 ミルクノズルのお手入れ

丸洗いができます

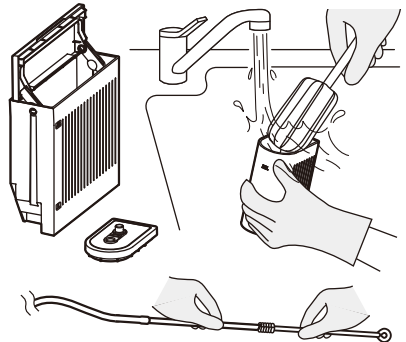
### 取り外しかた

- 水タンクを持ち上げて、本体から取り外します。
- 抽出ノズルを上げ、ミルクチューブを抽出ノズルから引き抜きます。
- ミルクタンクを本体から取り外します。
- ミルクノズルをミルクタンクから引き抜きます。



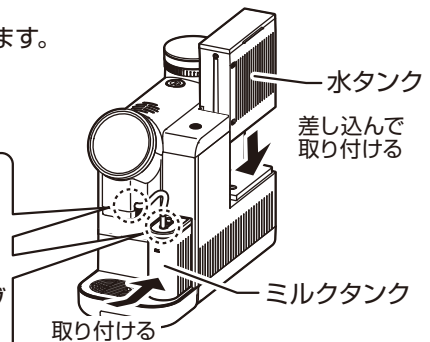
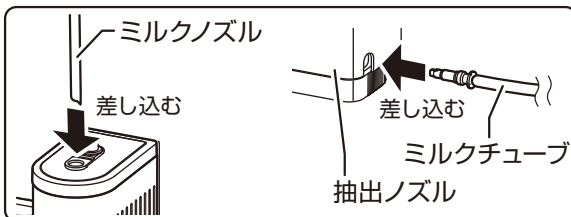
### お手入れのしかた

- 食器用中性洗剤をやわらかいスポンジやコップ用スポンジに含ませて、水洗いします。
- 洗剤が残らないように水で洗い流して、乾いたやわらかいふきんで水分が残らないようにふき取り、よく乾燥させます。
- ミルクノズルは、付属のクリーニングブラシをミルクノズルに差し込んで、お手入れします。



### 取り付けかた

- 水タンクを本体に差し込んで、元どおり取り付けます。
- ミルクタンクを元どおり本体に取り付けます。
- ミルクノズルをミルクタンクに差し込みます。
- ミルクチューブを抽出ノズルに差し込みます。



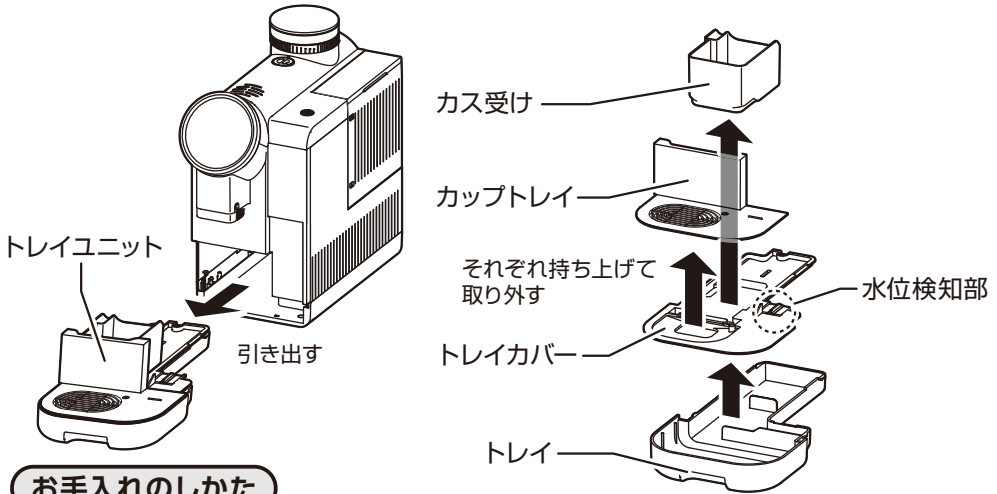
# お手入れと保管

## トレイユニットのお手入れ

丸洗いでできます

### 取り外しかた

- トレイユニットを引き出して、取り外します。
- カス受け、カップトレイ、トレイカバーをそれぞれ持ち上げて、トレイから取り外します。



### お手入れのしかた

- 食器用中性洗剤をやわらかいスポンジに含ませて、水洗いします。
  - 洗剤が残らないように水で洗い流して、乾いたやわらかいふきんで水分が残らないようにふき取り、よく乾燥させます。
- とくに水位検知部は、汚れや水分が残らないようにきれいにふき取り、よく乾燥させます。

### 取り付けかた

- トレイカバー、カップトレイ、カス受けをトレイにセットします。
- トレイユニットを本体に差し込んで、取り付けます。



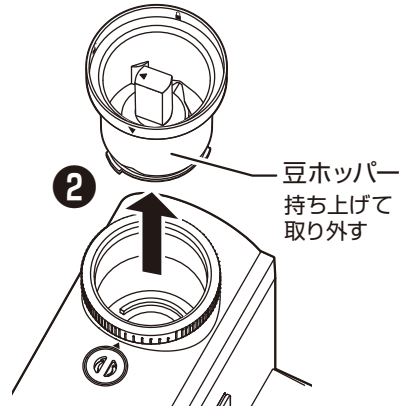
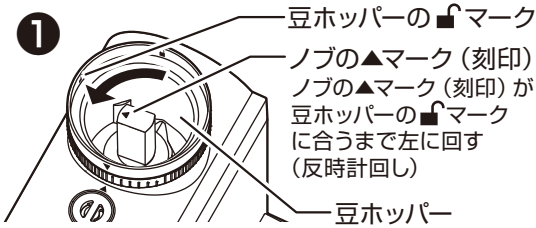
# お手入れと保管

## 豆ホッパーのお手入れ

## 丸洗いでできます

### 取り外しかた

- ①ノブを左に回します。(反時計回し)
- ②豆ホッパーを持ち上げて、取り外します。



### お手入れのしかた

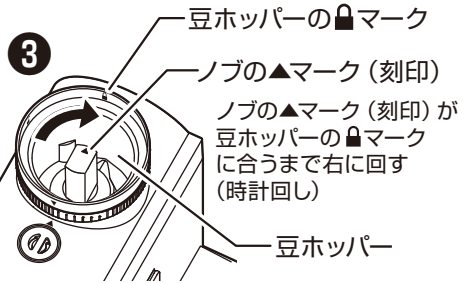
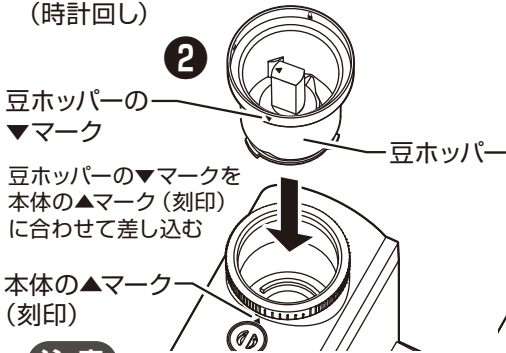
- 食器用中性洗剤をやわらかいスポンジやコップ用スポンジに含ませて、水洗いします。
- 洗剤が残らないように水で洗い流して、乾いたやわらかいふきんで水分が残らないようにふき取り、よく乾燥させます。

※お手入れ後は、必ずよく乾燥させてから使用してください。

水分が残っていると、水分や湿気でコーヒー豆が付着したり、カビが発生する原因になります。

### 取り付けかた

- ①ノブの▲マーク(刻印)が豆ホッパーの🔒マークに合っているか確認する。
- ②豆ホッパーを本体に差し込みます。
- ③ノブを右に回して、豆ホッパーを固定します。(時計回し)



### 注意

※豆ホッパー取り付け部に豆が残っていると、豆ホッパーが取り付けられないことがあります。

そのようなときは、豆ホッパー取り付け部に残った豆を取り除いてください。

※ノブを回すときは、止まるまで確実に回してください。

確実に回していない状態で豆ホッパーを持ち上げると、豆ホッパー底面からコーヒー豆が落ちることがあります。

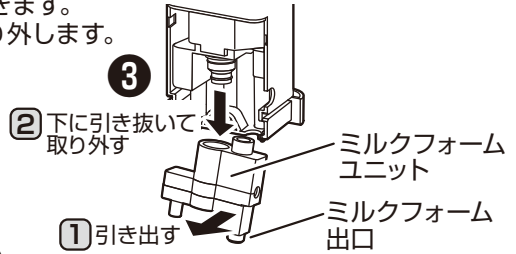
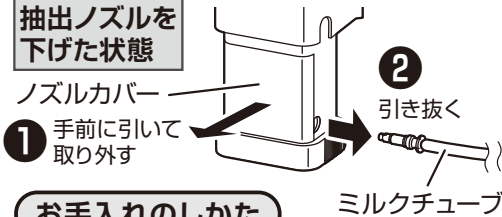
# お手入れと保管

抽出口、給湯口、ミルクフォームユニット取り付け部のお手入れ **丸洗いできません**  
ミルクフォームユニットのお手入れ **丸洗いできます**

## 取り外しかた

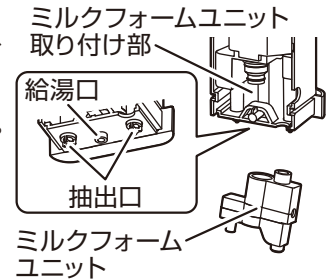
- ① 抽出ノズルを下げ、ノズルカバーを取り外します。
- ② ミルクチューブを抽出ノズルから引き抜きます。
- ③ ミルクフォームユニットを引き抜いて取り外します。

### 抽出ノズルを下げた状態



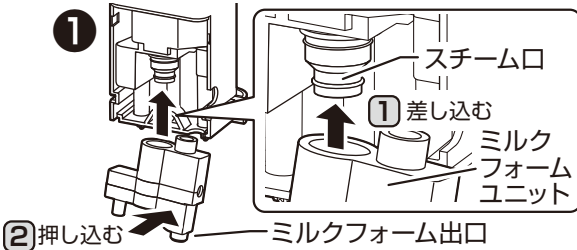
## お手入れのしかた

- 抽出口、給湯口、ミルクフォームユニット取り付け部の汚れは、水で濡らしたブラシや水に浸したやわらかいふきんをよくしぼって、お手入れします。乾いたやわらかいふきんで水分をふき取り、よく乾燥させます。
- ミルクフォームユニットは、水洗いできます。汚れを水で洗い流して、乾いたやわらかいふきんで水分をふき取り、よく乾燥させます。

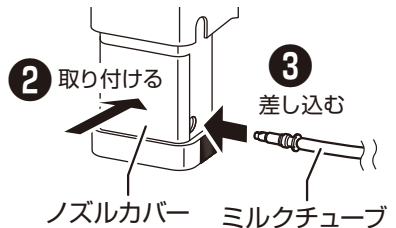


## 取り付けかた

- ① ミルクフォームユニットをスチーム口に差し込み、押し込んで元どおり取り付けます。
- ② ノズルカバーを抽出ノズルに取り付けます。
- ③ ミルクチューブを抽出ノズルに差し込みます。



### 抽出ノズルを下げた状態



本体外側、豆ホッパー取り付け部のお手入れ **丸洗いできません**

## お手入れのしかた

- 豆ホッパー取り付け部に残ったコーヒー豆を取り除きます。
- 乾いたやわらかいふきんで、汚れをふき取ります。
- 落ちにくい汚れは、薄めた食器用中性洗剤に浸したやわらかいふきんをよくしぼって、ふき取ります。さらに乾いたやわらかいふきんで、洗剤が残らないようにきれいにふき取ります。

# お手入れと保管

## 保 管

- 保管の前は、本体内部に残った水を排出してからお手入れをします。  
水を排出するときは、15ページの「本体内部に残った水を排出する」を参照。
- お手入れ後は、よく乾燥させてからポリ袋をかぶせ、直射日光や湿気を避けて保管します。  
(湿ったまま保管すると、カビの発生、異臭、故障の原因になります)

## 注意

※電源コードの根元を曲げたり、電源コードを本体に巻き付けたり、電源コードや電源プラグに力が加わるような状態で、保管しないでください。  
異常発熱・ショート・火災の原因になります。

## 仕 様

電 源	AC100V 50/60Hz共用			
消 費 電 力	1250W			
製 品 寸 法 (約)	幅:195mm×奥行:450mm×高さ:410mm			
製 品 質 量 (約)	9.4kg			
容 量 (約)	水タンク	ミルクタンク	豆ホッパー	カス受け
	1.2L	0.4L	150g	ミル(豆挽き)10回分
コ ー ド 長 (約)	1.2m			●製品の仕様や外観は、改善のため予告なく変更することがあります。
ポ ン プ 圧 (約)	15気圧			
安 全 装 置	温度ヒューズ、電流ヒューズ			

## 故障かな?と思ったら

※お問い合わせや修理を依頼される前に、下記を確認してください。

症 状	原 因	処置 または お知らせ
勝手に電源が切れる	●電源を入れたまま放置していませんか?	●待機モードの状態です約2時間経過すると電源が切れます。 電源ボタンを押して、電源を入れ直してください。
マーク(エラー表示)が表示されて抽出できない	●コーヒー豆や水がなくなっていますか?	●マーク(エラー表示)が表示されたときは、14ページの「こんなマークが表示されたときは(エラー表示)」を参照して対処してください。
本体から大きな音が出て、「△注意/故障と水切れマーク」が表示される	●ポンプが動作するとき、水タンクが浮いているなど確実に取り付けられていなかったり、取り外していませんか?	●水タンクが確実に取り付けられているか確認し、スタートスイッチをタッチしたあとは、水タンクを取り外さないでください。 水の入った水タンクを確実に取り付けからスタートスイッチをタッチすると、消灯してスタンバイモードになります。
電源を入ると大きな音がする	●購入後はじめて使用するときや、本体内部の水を排出(15ページ参照)したあとに電源を入れると製品から大きな音がしますが、故障や異常ではありません。 これは、ポンプ内に水が無いためでポンプに水が流れ込むと、音が消えてスタンバイモードになります。	

# 故障かな？と思ったら

※お問い合わせや修理を依頼される前に、下記を確認してください。

症 状	原 因	処置または お知らせ
抽出量が少ない	●洗淨しないで使用していませんか？	●洗淨しないで使用をつづけると、本体内部の水路や抽出ノズルが詰まって、抽出量が少なくなることがあります。洗淨モードを使用して、内部洗淨してください。
コーヒーが水っぽい	●豆ホッパー内部が詰まっていませんか？	●豆ホッパー内部をお手入れしてから、もう一度抽出してください。
ミルクの泡立ちが悪い	●牛乳がぬるくなっていませんか？	●よく冷えた(4~8℃)牛乳を用意してください。
	●種類別名称が「牛乳」以外で抽出していませんか？	●種類別名称が「牛乳」と記載され、成分無調整、乳脂肪分3.0%以上の牛乳で抽出してください。
牛乳を吸わない	●ミルクノズルが詰まっていませんか？	●ミルクノズルをお手入れしてください。
	●ミルクチューブが折れ曲がっていませんか？	●ミルクチューブが折れ曲がっている部分を直してください。
ミルクメニューを抽出するとコーヒーしか出てこない	●抽出が完了していますか？	●コーヒーを抽出したあと、少し間を空けてミルクフォームが出ます。コーヒーとミルクフォームは、同時に抽出されません。ミルクフォームが完了するまで待ってください。
蒸気が勢いよく出る	●ミルクメニュー抽出中に牛乳が無くなっていませんか？	●ミルクメニューは、蒸気で牛乳を泡立ててミルクフォームをつくるため、牛乳が無くなるとミルクフォーム出口から蒸気が勢いよく噴き出して、やけどの原因になります。ミルクメニューで抽出をするときは、必ずミルクタンクに半分以上牛乳が入っていることを確認してください。
豆ホッパーにコーヒー豆が入っているのに、「豆切れマーク」が表示される	●油分の多いコーヒー豆を使用していませんか？	●油分の多いコーヒー豆は、豆ホッパーに付着したり、豆を挽くミルに引き込まれにくくなることもあるため、使用を避けてください。
	●コーヒー豆が豆ホッパーに引っかかっていませんか？	●豆ホッパーの穴にコーヒー豆が引っかかって、豆を挽くミルに落ちないことがあります。そのようなときは、細い棒(箸など)を使用してコーヒー豆を軽く押し込んでください。
豆ホッパーが取り付けできない	●豆ホッパー取り付け部にコーヒー豆が残っていませんか？	●豆ホッパー取り付け部のコーヒー豆を取り除いてから、豆ホッパーを取り付けてください。
トレイユニットから洗淨水があふれる	●トレイの水位検知部が汚れていませんか？	●水位検知部をお手入れしてください。

# 故障かな？と思ったら

症 状	原 因	処置または お知らせ
トレイが引き出せない	●抽出中に電源を切っていませんか？	●抽出中に電源を切ると、内部の抽出部品がトレイユニットに引っかかり引き出せません。そのようなときは、電源を入れ直してしばらくしてから引き出してください。抽出中に電源を切らないでください。
洗浄モードが解除できない	●洗浄モードが完了していませんか？	●洗浄モードを開始すると、洗浄が完了するまで解除できません。途中で電源を切ったり、電源プラグを抜くと、故障の原因になります。

## 点検のお願い

安全に長く愛用していただくために  
日頃から点検をおこなってください。

### ★こんな症状はありませんか？

- 電源コードや電源プラグが異常に熱い。
  - 電源コードや電源プラグに深い傷や被覆破れがある。
  - 電源プラグが変形している。
  - 電源コードを動かすと通電したり、しなかったりする。
  - 水や蒸気が漏れる。
  - 変形や破損している。
  - 異常な音がする。
  - 製品に触れるとビリビリと電気を感じる。
  - 製品が異常に熱かったり、こげ臭いなどの異臭がする。
  - その他の故障・異常・破損がある。
- 電源プラグやコンセントにホコリやごみが付着している。

### ★異常があれば

## 使用中止 !!

故障や事故防止のため、  
電源プラグをコンセントから抜いて、必ず販売店に点検や修理を依頼してください。

ホコリやごみを取り除いてください。

## アフターサービスについて

- 本製品は、保証書が付いています。  
お買上げの際に、販売店より必ず保証欄の「お買上げ年月日」と「販売店印」の記入を受けてください。
- 保証期間は、お買上げ日より1年です。  
保証期間中の修理は、お買上げの販売店に依頼してください。  
保証書の記載内容により、修理いたします。  
その他詳細は、保証書を参照してください。
- 保証期間経過後の修理（有料）については、お買上げの販売店に、依頼してください。
- 本製品の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後5年です。  
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために、必要な部品です。
- サービスパーツについて  
豆ホッパーなどのサービスパーツについては、お買上げの販売店に、お問い合わせください。

### ■ 使いかたやお手入れなどのお問い合わせは下記へ

本製品についての取扱いやお手入れ方法のお問い合わせ、転居されたり贈答品などで、販売店に修理の依頼ができない場合は、右記へお問い合わせください。

「山善 家電お客様サービス係」  
ナビダイヤル ☎ 0570-077-078

※FAXでのお問い合わせは ☎ 0120-680-287  
※PHS、IP電話など一部の電話からは、利用できません。  
受付時間：10:00～17:00（土、日、祝日を除く）

FAXまたはEメールでのお問い合わせも受け付けています。  
その際は、製品名、品番、お問い合わせ内容、お名前、電話番号を記入のうえ、お問い合わせください。

●FAXでのお問い合わせは ☎ 0120-680-287  
●Eメールでのお問い合わせは info\_m@yamazen.co.jp

### 個人情報の取扱いについて

株式会社 山善およびその関係会社は、お客様の個人情報やお問い合わせ内容を、お問い合わせへの対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、個人情報を適切に管理し、修理業務などを委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者には提供しません。

※お問い合わせのときは、保証書に記載の製品名、品番をお知らせください。